

特集

宙のネットワークの活動

～インターネット上の宇宙天文同好会の可能性～

見里安利紗（宙のネットワーク代表／神戸女学院大学）

1. はじめに

宙のネットワークは、ビギナーからベテランまで全国のメンバーが SNS を通じて“宙”の楽しみ方を共有するサークルです。天体写真を楽しんだり、星空案内をネットで中継する試みもあります。これまでの活動について 11 月 25 日（日）に行われた日本天文教育普及研究会の関東支部集會にて発表をしました。本稿では宙のネットワークについて紹介したいと思います。

2. 宙のネットワークの来歴

宙のネットワークのメンバーはほとんどが、若手の Twitter と LINE のユーザーです。ネットワーク上で地域の枠を超えた天文好きの交流に関心を持ったメンバーが十数名集まり発足しました。入ったメンバーは大学天文部の部員や OB が中心です。ネットで天文好きが集まった天文サークルなので、当初は「ネット天文同好会」と呼んでいました。LINE での情報交換をしながら、星空ソフトを使って星空案内をするネットプラネタリウム部、写真の処理研究や星景撮影を楽しむ写真研究班など、興味に応じた活動の場で会員がそれぞれ活躍しています。2018 年 12 月 30 日現在では 129 名の会員が所属しています。

3. 宙のネットワークの特徴

宙のネットワークは、天文や宇宙に興味がある方ならどなたでも入会が可能で、知識やスキルを問わないので高校生や大学生の会員が多いです。所属する大学に天文部がなかったので入会をされる方や、星のソムリエ講座仲間の紹介で入会された会員もいます。

4. 宙のネットワークの活動

4.1 LINE グループでの活動

情報交換、天文ショーの同時観測、高校生の進路相談など、何でも聞いて話せる場所です。不定期にテーマを設定して LINE 電話を利用してディスカッションを行っています。

(1) 全国同時観測の様子

図 1 は LINE グループでのペルセウス座流星群の全国同時観測の様子です。リアルタイムで全国の地域の天体ショーを楽しめます。西日本のある地域では GPV 気象予報とは違って晴れました。

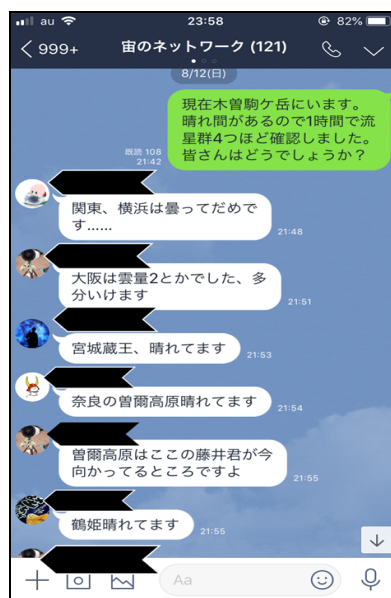


図 1 天体ショーを楽しむ様子

流星に限らず、月蝕、掩蔽観測など地域によって見え方が違う天文ショーで同時観測が可能です。会員の皆様に「#宙のネットワーク」のハッシュタグで Twitter で呟っていた

だくことで、自分なりの宙を楽しむスタイルを紹介できるのではないのでしょうか。火星大接近の時には会員がアルバムを作り、各々の写真を載せました（図2）。



図2 火星大接近のフォトアルバム

(2) 高校生による進路相談

宙のネットワークに入会される高校生の中には将来科学者になりたいと考える会員もいます。しかし宇宙を学べる大学の説明会の存在を知らない方や、地域的に参加しづらい方もいます。宙のネットワークに所属している大学生のほとんどは実際に宇宙を学べる大学に通っています。説明会では聞けない研究室の状況など、ネットだからこそ気軽に聞ける場所だと筆者は思います。

この相談で高校生たちの将来の可能性が広がるのではないのでしょうか。

4.2 ネットプラネタリウム部の活動

宙のネットワークの部門は、星空案内をネットで配信することで、より多くの人に星空の楽しさを知ってもらうのを目的として活動しています。内向きには会員の星空案内の機会ができた、プラネタリウムの解説の技術紹介しあい共有する利点があります。

(1) ネットで配信について

ネット配信では生解説と番組制作の2つの

活動を行っています。生解説では、ツイキャスと呼ばれるTwitterに対応したライブストリーミングサービスを利用して放送をしています。一方、番組制作では動画配信サービスYouTubeを利用してしています。最近ではYouTubeで生解説360°配信も試みています。使用ソフトはMitaka(国立天文台4D2U)、Stellarium (Stellarium develop team)、星風夜(星風P)です。すべてのソフトにおいて使用許可を得ています。上記のような星空ソフトは観望会の前の星空の紹介などに積極的に使われています。配信した内容はいつでもどこでも手元にあるスマートフォンで星空散歩や宇宙旅行を体験できるように活動を録画しています。気になる方は以下のURLから覗いてみて下さい。

ネットプラネタリウム部のTwitterのモーメントに載せています。

(<https://t.co/GYbiVspiTg>)

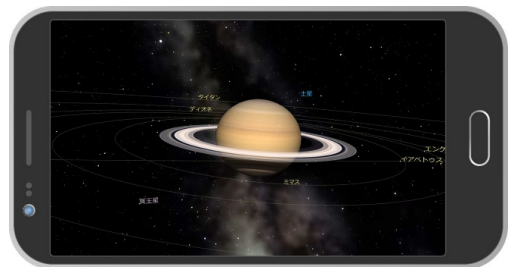


図3 Mitakaによる投影イメージ

(2) 過去の投影内容

表1 過去に行った投影内容

テーマ	投影例
今晚の星空解説	冬のダイヤモンド、リレー解説
Mitaka宇宙旅行	惑星巡り
朗読プラネタリウム	南天銀河鉄道

例えば、テーマが今晚の星空解説の投影例として、リレー解説では、別々の地に住む会員が1つの星座を解説した後に次の会員に別の星座を説明してもらう形式で行いました。

4.3 写真研究班の活動

写真研究班は、不定期にテーマを設定してオンラインで会議を行ったり、LINE グループで写真を載せて画像処理の天体写真研究を行ったり、月ごとにテーマを決めて星景写真の撮影などを行っています。11月に行ったテーマ星景「カシオペア座」を会員が撮影したものです。(図4)

写真のモチーフの入れ方や構図など十人十色の写真の撮影意図などを説明つきで紹介してもらえるので著者自身、写真の撮影の勉強に役立たせていただいております(笑)。



図4 会員が撮影した写真

現在、写真研究班では、会員同士の情報・技術交換が活発です。例えば機材は何を使えばよいのかなどの共通の悩みを共有しています。しかし、対外向けの活動はSNSではほとんど行っていない状態です。優れた作品を生み出しているメンバーが多いので、写真展の開催や、夏コミ[1]に出展するのはどうかと検討しています。

5. 宙のネットワークのこれから

LINEは若者たちが手軽に繋がれるツールです。LINEは機能に富んでいてより多くの方に日常的に使われている意味では優れていますが、新たに入会した方が過去のグループ内のトーク内容を見ることができないという点に限界を感じています。会員同士がいつでもどこでも気軽に集まれる訳ではありません。

ネットワーク上で行う活動の幅をより広げるには、交換のツールである wiki を利用するのが良いのではとの声が会員の中で上がっています。

さらには、全国に散らばる会員が知り合いの方の観望会の助っ人をしたり、あるいは宙のネットワークが共同で観望会を開催したり、将来的には自主開催も目指しています。もし、可能であれば他の天文サークルとも交流を深め、活動の幅が広がることに期待を抱いています。最後に、これからどのように活動していこうか、日々試行錯誤をしています。活動のアイデアなどのご助言や、何か気になることや不明な点などございましたら、お気軽に筆者までご一報下されれば幸いです。

Twitter の QR コード紹介



宙のネットワーク
公式 Twitter



ネットプラネタリ
ウム部 Twitter

[1] 年に2回幕張メッセで行われるコミックマーケットをコミケといいます。夏に行われるので、夏コミと親しみやすく呼ばれています。種々様々な同好会の同人誌の販売が行われています。

見里安利紗

宙のネットワーク問い合わせ先
nettenmon@gmail.com